

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：繊維・マテリアル研究センター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>【基準2 施設等の組織（実施体制）】 【基準7 管理運営】 運営部門と研究部門、小委員会メンバー構成、兼任教員についての記載がやや羅列的である。運営委員会要項は整備されているが、運営部門、研究部門及び兼業教員などに関する要項が整備されていない。発足して間がないために今後早急に整備されることと思われる。センター専任教員の増員に対する計画も望まれる。</p>	<p>兼任教員については、どこの研究部門に所属しているかの情報をまとめている。 運営部門、研究部門、兼任教員などに関する要項等の整備は鋭意進めている段階である。 センター専任教員の増員計画については、大学における教員定員が限られていることを考えると、現状からの難しい。そのため、当面はセンターの運営を支える兼任教員を増員することで対応したい。</p>
<p>【基準3 活動状況と成果】 多額の研究費の受託研究を複数実施しているが、研究助成や研究提案に関する記載に留まっており、肝心の研究成果そのものに関する記載がみられない。ホームページでのアピールも足りない。また、高度産業人材育成について若手研究者支援の記載がみられない。</p>	<p>多額の研究費による受託研究は、現在実施中のものが多く、研究成果の記載にまで至っていない。現在は、研究もすすみ徐々に開示できる研究成果も出てきていることから、順次、ホームページ等でアピールをしたい。 若手研究者支援は、すでに若手の兼任教員を対象とした特別研究助成を実施している。本年度も実施予定である。</p>
<p>【基準5 設備】 規模が大きく、汎用性の高い研究・教育設備の更新が課題となる。汎用性の高い高額設備に関しては、学内共同購入・運用の検討が望まれる。</p>	<p>センターが設立し、落ち着いてきたので、センター兼任教員を中心に規模の大きく、汎用性の高い研究・教育設備の更新に関する準備を行うグループを組織し、いつでも申請できる体制づくりの検討を進めている。</p>